

新たな特集の企画について

金 秀 俊

1. はじめに

以前、コンサルタンツ北海道では、「21世紀の新技术」というシリーズ特集を組み、106号から111号まで2年半に亘って連載を致しました。その後、広報委員会では、これに続く新たな特集を考えておりましたが、今回、前号掲載の支部長年頭所感にもありました「産学官連携」にスポットをあて、特集とすることに致しました。道内各方面で産学官連携に係わっている方々に特集記事執筆をお願いし、活動内容や具体的な事例などをご紹介して、会員会友の皆様にもその一端を知って頂ければとの思いです。北海道の産学官連携活動の概要は、経済産業省北海道経済産業局のホームページをご覧いただければ知ることができるのですが、この誌面では、そこに書かれていること以外にも、執筆者の方々が伝えたい思いや、トピックスなどをお伝えできればと思っています。

これを機に、技術士の皆さんの活躍の場がさらに広がっていくきっかけになれば嬉しく思います。

2. HoPE と HiINT

北海道における産学官連携の中核となっているのは、HoPE (Hokkaido Platform Entrance) という組織で、2001年に設立されました。

昨年までに会員企業約250社、大学・公設試・行政機関等の支援機関約30機関が参画し、350名以上の研究者とコーディネーターが活動しています(北海道経済産業局ホームページより)。

HoPEは、地域における産学官連携による架け橋モデルとして高く評価され、昨年、経済産業大臣賞として、第8回産学官連携功労者表彰を受賞し、今後も益々の活躍が期待されています。

さらに、北海道内産学官連携の総合窓口として、

R & B パーク札幌大通サテライト、通称 HiINT があります(R & B は Research & Business、HiINT は Hokkaido Intelligent Network Terminal の略)。ここでは、

◆産学官連携に関する様々な情報発信、技術情報への総合窓口

◆企業からの製品開発・技術開発・研究開発に関する相談

◆打合せや情報収集の場の提供

等のサービスを提供しており、道内産学官連携をワンストップで支援する機関として、大通りに開設しています。我々広報委員会でも、HiINT の会議室を利用させて頂いておりますが、大変便利な場所で、皆さんにもお勧めします。

HiINT の運営協議会には、道内産学官の22機関がメンバーとして参画し(詳細は HiINT ホームページをご覧下さい)、共同運営しています。

3. トップバッターは？

今回は、特集の皮切りに、この HiINT でご活躍されている、(独)産業技術総合研究所北海道センターイノベーションコーディネータの太田英順氏に執筆をお願いした次第です。

今後、産学官連携に積極的な各方面の方々をつないで、皆様にとって興味深い特集シリーズにしたいと考えておりますので、どうぞご期待下さい。

金 秀 俊(こん ひでとし)
技術士(応用理学)/総合技術監理部門

(社)日本技術士会北海道支部
広報委員会 委員長

